

平成 31 年 1 月 18 日
横浜アーツフェスティバル実行委員会

「横浜音祭り 2019 メインビジュアル制作業務委託」契約結果

横浜音祭り 2019 メインビジュアル制作業務委託について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名
横浜音祭り 2019 メインビジュアル制作業務委託
- 2 委託内容
メインビジュアル（2種）、チラシ用フォーマット（2種）のデザイン制作
- 3 契約の相手方
株式会社 hush
- 4 契約金額
750,600 円
- 5 契約日
平成 31 年 1 月 15 日
- 6 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社 hush	311	1
インフォ・ラウンジ株式会社	303	2
株式会社 NKB Y' s	298	3
株式会社フリッカ	287	4
株式会社エイエイピー 横浜支店	270	5
fita	246	6
株式会社 KADOKAWA	210	7

7 評価基準・評価委員会開催経過等

(1) 評価基準

別紙参照

(2) 委員会開催日時及び開催場所

開催日時：平成 30 年 12 月 21 日（金）13 時 05 分から 16 時 45 分まで

開催場所：横浜市文化観光局会議室

出席状況：6 人中 5 人出席

(3) 主なコメント

- ・1位の提案は、これまでのフェスティバルメインビジュアルと一線を画す、新鮮でオリジナリティが光るデザインだった。また、音楽が横浜の街へ運ばれて、街全体が沸き立つような、ワクワクする期待感や発展性が感じられた。
- ・その他の提案は、それぞれよくまとまっていたが、既視感があったり、インパクトに欠けたりして、今一つ印象に残りにくかった。

8 問合せ先

横浜アーツフェスティバル実行委員会事務局 電話：045-671-3682

提案書評価基準

(1) 評価方法

評価委員1人あたり100点満点とし、下記評価項目について評価を行い、合計得点の高い者を特定する。なお、評価委員の過半数が1点とする項目が1つ以上ある場合は、特定されない。

(2) 評価点が同点の場合の措置

評価委員の採点の合計点数が同点の場合、次の順序で上位の提案をプロポーザルの上位者とする。

- ア 加重倍率が2の項目の合計得点が上位の者
- イ 5点の評価点項目が多い者
- ウ 加重倍率が2の項目に2点以下の評点が無い者

(100点満点)

				点数		
				良い >> 普通 >> 良くない	倍率	満点
		項目	(評価の視点)			
メインビジュアル	① 訴求デザイン	識別性	独自性・視認性に優れ、記憶しやすいか	5・4・3・2・1	2	10
		テーマとの合致	フェスティバルのテーマやコンセプト、世界観を十分に理解し、それと合致しているか	5・4・3・2・1	2	10
		デザイン・レイアウト	文字のフォント・サイズ、行間のバランス、紙面全体の配置のバランスなど、読みやすいデザインになっているか	5・4・3・2・1	1	5
			横浜で行われる日本最大級の音楽フェスティバルとして、都市ブランドイメージの向上に寄与する洗練されたデザインになっているか	5・4・3・2・1	1	5
		展開のしやすさ	印刷物、ウェブサイト、グッズ等の展開時に使用しやすいか	5・4・3・2・1	1	5
	② 訴求的コンテンツ	識別性	独自性・視認性に優れ、記憶しやすいか	5・4・3・2・1	2	10
		テーマとの合致	フェスティバルのテーマやコンセプト、世界観を十分に理解し、それと合致しているか	5・4・3・2・1	2	10
		デザイン・レイアウト	文字のフォント・サイズ、行間のバランス、紙面全体の配置のバランスなど、読みやすいデザインになっているか	5・4・3・2・1	1	5
			プログラムへの券売・来訪意識を醸成するような期待感、規模感が感じられるか	5・4・3・2・1	1	5
		話題性	インパクトがあり、話題性を喚起するものとなっているか	5・4・3・2・1	2	10
	キャッチコピー	フェスティバルの特徴を来場者の視点から的確に表現した、簡潔で記憶しやすいコピーであるか	5・4・3・2・1	1	5	
	統一感	同一のフェスティバルをあらゆるデザインとして、両者のトーン&マナーが揃ったものとなっているか	5・4・3・2・1	1	5	
	チラシ用フォーマット	レイアウト	文字のフォント・サイズ、行間のバランスなど、読みやすいデザインになっているか	5・4・3・2・1	1	5
	過去の業務実績・業務実施体制		本業務を実施するにあたり、デザイン業務の実績が十分にあるか。また、確実に業務を遂行する人員体制を有し、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進するとともに、女性など多様な人材の確保・定着による企画力の高度化が図られているか	5・4・3・2・1	1	5
予算配分		上限額(80万円)を踏まえ、業務内容に対し、妥当性のある予算配分になっているか	5・4・3・2・1	1	5	
合 計						100